



この国の水と大地、 そして、人の手が育ててくれた。

IGUSAの家具づくりに用いられているのは、日本で生まれ育った、正真正銘の「国産天然い草」です。
安価な海外産が急増している昨今において、耐久性や色つやに優れ、高級品として珍重され続ける国産の価値。
良質にして稀少をきわめるその素材は、今でも手作業で長い時間をかけて育てられ、
収穫後は文字通り一本一本、吟味を重ねて選別されてゆきます。

そうして丹念に選り抜かれた材料に織物としての命を吹き込むのが「染め」と「織り」の工程です。
泥染めで仕上げる一般的な畳表とは異なり、無染土と呼ばれる状態のい草に、様々な顔料による着色を施します。
また、通常の畳よりも高密度に織り上げることにより、まるで絹のような美しいつやと肌ざわりが生まれます。

手間と時間を惜しむことなく、どこまでも品質を追い求めたIGUSA専用の素材。
そこに織り込まれているのは、日本の自然の恵みと、手仕事の温もりなのかもしれません。